



[広報資料]

2011年12月1日
(株)NHKメディアテクノロジー

(株)NHKメディアテクノロジーが東北大学「みちのく震録伝^{*}」へ 東日本大震災 3D 映像を提供

(株)NHKメディアテクノロジー（西山博一代表取締役社長）は、3Dで取材記録した東日本大震災の映像を、東北大学（井上明久総長）による東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」に提供することにしました。この記録映像が、東北大学での研究を通して今後の復興と防災・減災に貢献することを期待しています。

(株)NHKメディアテクノロジーは20年余りにわたって立体映像実用化への取り組みをおこない、数多くの3D作品を制作してまいりました。このたびの未曾有の大地震と大津波災害に際して、最新の3D映像技術と蓄積してきたノウハウを使って被災地の惨状を映像記録し後世に残すことこそ、会社の使命であると考えました。

そこで4月上旬、取材班を被災地に派遣、7地域を選んで重点的に取材し「3D 東日本大震災～津波の傷跡～」(16分 日本語版・英語版)を制作しました。

また半年後の9月上旬、ふたたび被災地を訪れて、動き始めた復興への歩みを3D映像で記録し「3D 東日本大震災～復興への歩み～」(13分)を制作しました。

(株)NHKメディアテクノロジーは、これらの3D映像を東北大学による東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」に提供することにしました。この3D映像記録が、東北大学での研究を通して防災施設や教育関係等でも広く活用され、今後の復興と防災・減災の一助として寄与することができればと期待しています。

当社は東日本大震災の被災地について、今後も復興への道りを含めて継続的に3D取材を続けていくことにしています。

*「みちのく震録伝」・・・東北大学が進めている東日本大震災アーカイブプロジェクト及びアーカイブシステムの名称。このたびの東日本大震災を中心とした記憶、記録、事例、知見を収集・保管し、これらを地域や世代の異なる人々に伝承する取り組みです。みちのく震録伝を活用して災害の防災・減災の研究の進展はもちろんのこと、地域や社会の防災・減災の対策を推進します。

(株)NHKメディアテクノロジー：<http://www.nhk-mt.co.jp/shinsai3d/>

みちのく震録伝：<http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/archive/>

お問い合わせ 智片通博 03-3481-7710 shinsai3d@nhk-mt.co.jp